

行政視察報告書

教育民生委員会
行政視察

平成30年7月25日(水)～7月27日(金)

視察先 及び 調査事項	三鷹市	(1) コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育について
	川崎市	(1) 川崎市子ども夢パークについて (2) かわさき宙と緑の科学館について
	足立区	(1) 子どもの貧困対策について

教育民生委員会の行政視察を、上記の通り実施致しましたので、下記の通りご報告を致します。

記

日時

- 平成30年7月25日 松本市臨時駐車場を9時00分、川崎バスセンターへ。三鷹市役所を13時30分～15時30分
 - 平成30年7月26日 神奈川県川崎市の須賀所より、川崎市子ども夢パークを10時30分～12時00分まで。バス移動、東京都足立区役所を14時30分～16時00分まで
 - 平成30年7月27日 川崎市の須賀所より、川崎市の、かわさき宙と緑の科学館を10時30分～12時45分
- ～松本到着 18時10分

視察者氏名

委員長
副委員長
委員

阿部 功祐
勝野 智行
井口 司朗
井口 輝子

村上 幸雄
南山 国彦
草田 錦也
太田 真三

こども部長
教育部長
議会議務局(並査)

伊佐 治裕子
矢野 久保 崇澄
金井 真澄

1. 東京都三層市
 2012=71-11 在基礎教育n. 217
 0 経緯

不登校生徒の急増、学力が未定着低下等への対応として、中1
 での20%の学校種間の段差の解消が、平成15年4月
 小中一貫教育の基本計画の検討委員会設置、平成17年3月、小中
 一貫教育の理想に関する基本方針が確定し、平成18年2月、三
 層市小中一貫教育の検討が完了した。4月開校した。
 三層市は、小学校15校、中学校1校、2年3ヵ月検討の結果、小中
 一貫教育の7学園とした。平成18年以降、順次合併し平成
 21年9月に7学園が開校した。

- 0 成果
- ① 小中学校教育の授業交流が、児童、生徒の安心感につながり、
 学習意欲の向上につながった。
 - ② 小中学校の交流が、児童、生徒の心と心をつなぐ、期待を、生
 徒に自己有用感を生かした。
 - ③ CSの活動を通じて保護者、地域の学校への理解が進行
 教育活動への協力体制が広がった。
 - ④ 地域への開放による活動の増加、児童、生徒、教員間の交流が
 増えた、児童、生徒の心の豊かさや人間性が目に見える

学校が自由で、送る天朝の不安だとしても

2. 川崎市の子どもの数10-14年
 (1) 川崎市の子どもの数10-14年 - 1 条例
 子ども数が増え、児童福祉サービスの活動の拡充が、
 居場所の提供が求められる。子どもの心と心をつなぐ、児童、生徒の
 活動への参加の促進が、子どもたちの心と心をつなぐ、児童、生徒の
 数10-14年 - 1 条例
 条例で児童福祉サービスの拡充が、児童、生徒の心と心をつなぐ、
 子どもの数10-14年 - 1 条例

0 自己心7年までの権利
 0 自己心7年までの権利
 0 自己心7年までの権利
 0 自己心7年までの権利

○自分決める権利 ○参加する権利

○個別の必要に応じて支援を受ける権利。

(2) 川崎市子ども夢ひろーぐの基本理念

子どもは自由な発想で、遊ぶ・学ぶ・つづける居場所

(3) 施設、運営の概要

子ども夢ひろーぐは2003年7月にオープン。その後、2006年4月1日から指定管理有制度が導入され、「川崎子ども夢ひろーぐ共同運営事業体」が受託し管理、運営を行っている。

① 循環型システム型で整備している夢ひろーぐでは、「遊ぶ」「考える」 \leftrightarrow 「つくる」 \leftrightarrow 「こぼす」 \leftrightarrow 「考える」のくり返しを考えたおり、施設も子どもたちが安全に使用できる基本的なものだけでなく、整備されたおり。その後、子どもたちが施設を使いながら自分たちで創つていくことになった。このため「スキルド・建築株式会社」を採用し、将来的に子どもたちが自分たちで増築、改装するなどの可能性や可変性を確保している。

② 運営方針

(1) 子ども主体の運営をめざす。

(2) 子どもたちが「自分の責任で自由に活動ができる」運営をめざす。

(3) リゾーナは人の輪を広げ、活動の可能性を広げていく。

(4) みんなで「工夫し、変えていく」を軸に運営をめざす。

3. 東京都 足立区 子供の食育対策について

足立区では「沿革、学力、健康、食育の連鎖」を4つのポイントに明約課題と位置づけ、取り組みを進めています。

特に食育については、親子・孫世代が変化する以前の状況から脱却するために「食育の連鎖」が、別格深い問題であると認識し、解決に努めました。

国が平成26年1月に「子どもの食育対策推進に関する法律」を施行。8月には「子どもの食育対策に関する大綱」を制定し、子どもの食育対策に取組む姿勢を示しました。

これを契機に足立区でも、フォローアップを策定し、本格的な取り組みに着手しました。

○ 基本理念

(1) 全ての子どもたちが育つ環境に左右されず、こども

自分の将来に希望を持った社会の理想

(4) 次女の進路を考えた。子悦は学費を支援(力)を援助して、自分の人生を自主的に開き、全国の連合を以て「新」

7自己立
(1) 子悦は「全国経済的困難を以て」解決す。社会の
孤立と連合上の問題を以て「環境全般」に於て
の対応問題と捉え、その解決は、方針を以て進ん

取組む姿勢

(1) 全庁的組織を以て

(4) 学費を支援する

(1) 早期の子悦と親と親の家族

(3) 学費を「2y」に減らす

(1) NPO等の連携

(4) 国・都道府県の協力

(生活困難7月)

是立の調査では、子悦の「全国経済的困難

を以て」に、子悦は「環境全般」に於て

「2y」に減らす。次女の「2y」に於て

「生活困難」世界を以て

(1) 世界を以て「2y」に減らす

(4) 生活困難は、非所有世界(子悦)の生活に於て、必要と

中(子悦)の「2y」に減らす。子悦は「2y」に於て

(1) 水道、加入する「2y」に於て、世界を以て

以上を以て、子悦の「全国経済的困難」を以て

方針を以て進ん

4. 子悦は「全国(2y)の経済的困難

を以て」に、子悦は「環境全般」に於て

「2y」に減らす。次女の「2y」に於て

「生活困難」世界を以て

(1) 世界を以て「2y」に減らす

(4) 生活困難は、非所有世界(子悦)の生活に於て、必要と

中(子悦)の「2y」に減らす。子悦は「2y」に於て

1969年10月科学館構想の完成。1971年8月、子悦の

方針を以て進ん

全体の「2y」に於て、2010年8月、子悦の「2y」に於て

2012年3月「かわさき宙(宙)と緑の科学館」として、リ=ア=オ=フ=

基本理念

天文(宙)と川崎の自然(緑)を題材に、体験と知識の両面を大切にし、本市で探究する科学的視察に示した事業の展開し科学教育を推進すること、科学の関心を高め、科学的な見方や考え方を養い、世界に目を向け、貢献できる人材を育てることと理念とする

○基本理念を実現するための4つの基本方針

- (A) 南かつき博物館
- (B) 体験する博物館
- (イ) 育む博物館
- (E) つなぐ博物館

館内には705初回の日、屋上には天体望遠鏡が幾つも設置され、その使用の際は天井が自動的に上昇して、360度の範囲で視察できる装置になっている。また、館内にはさまざまな展示物の展示がある。

館内の一部は、生田緑地に来場した市民が気軽に利用できるように、市民に対して開放的に施設している。

当日の乗降運賃は無料です。

平成30年9月11日

松本市議会議員 上條 俊道 様

委員 草間 錦 様